

請願受理番号 2

最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める  
請願

(教育民生委員会)

高齢化がすすむなか、年金はどんどん引き下げられ、安心して老後を送ることができなくなっています。無年金者や低年金受給者がますます増えており、山口市でも平成20年の無年金者は3367人。国民年金受給者38700人の年金の平均月額、老齢・障害・遺族年金などを含めても56000円程度であり、これは生活保護基準を下回り、その中から各種保険料を差し引くとさらに厳しい生活を余儀なくされています。

こうした人の多くが加齢によって医療にかかる必要に迫られながら、医療費が払えず、生活保護の申請やその予備軍となっていることは深刻です。生活保護を受けることなく、憲法に明記された人間として尊重され、安心して暮らせる生活が保障される年金制度を確立することは国民市民が切実に求めている緊急の課題です。

この最低保障年金制度の財源は、所得の低い人に負担が重くなる消費税に財源を求めるのではなく、利益をあげている大企業や大資産家、高額所得者の税負担をふやして財源に充てることが社会の格差を縮めることにもなります。

貴議会として政府に対し下記事項にかかわる意見書を採択されるよう請願いたします。

記

- 1 消費税に頼らず、誰もが安心して暮らせる最低保障年金制度を速やかに制定すること。

以 上

2010年12月1日

提 出 者

山口市中央4丁目3番3号

山口県労連会館内

全日本年金者組合山口支部

支部長 福 江 孜 介

紹介議員 菊 地 隆 次

山口市議会議長

野 村 幹 男 様